

神奈川県原水協の財政危機打開 緊急募金ご協力をお願いします

～人類と地球の明るい未来・核兵器廃絶の新たな挑戦のため～

2020年6月20日 原水爆禁止神奈川県協議会

原水爆禁止神奈川県協議会は、1957年4月5日に結成され今年で63年目を迎えました。63年間、県原水協は、日本の原水爆禁止運動とともに歩み重要な役割を果たしてきました。それは、被爆者に心を寄せ、市民、自治体、市民団体の支援・協力・共同があつて続けられてきました。

今年1月以来、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大で、国内外の人々のくらしや社会活動が大きく規制され重大な被害を受けました。

神奈川県原水協も、結成以来63年の歴史にかつてない困難に遭遇しています。運動面でも、財政面でもコロナ禍の困難を乗り越え、コロナ後の新たな運動、人類と地球の明るい未来に向かって挑戦し前進するためがんばる決意です。



市民に支えられて続けてきた60年の原水爆禁止運動

60年間の原水爆禁止運動と県原水協は、市井しやいの人々の募金・浄財に支えられてきました。2019年度の県原水協の予算でも、募金、資材やちひろカレンダー普及の収入が予算全体の78.5%を占めています。ところが、コロナ禍で募金に支えられてきた県原水協の財政状況が大きく崩れています。

コロナ禍で活動の相次ぐ中止は、財政的にも危機的困難に

毎年、ビキニデー、平和行進、世界大会などで多くの市民から「原水協募金」「被爆者募金」「街頭募金」「関連資材普及還元金」が寄せられます。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大でそれぞれが中止となり、募金などゼロないし大幅減少の事態となりました。その額は、約500万円を超え予算額全体の57.2%となります。このままでは、県原水協は財政面から危機的困難を来し、財政面で「破綻」に追い込まれ兼ねません。人件費はおろか、事務所維持、通常運営も困難になる事態です。

今日の重要な情勢のもと、神奈川県原水協の活動を止めるわけにはいきません。核兵器禁止条約発効など、コロナ後の新たな運動を進めるために財政の危機・困難を乗り越えることがどうしても必要です。

500万円募金達成のため団体・市民のみなさんのご支援を

神奈川県原水協は、この財政困難を克服し、核兵器のない平和な世界を実現する新たな運動に挑戦するため、団体・市民の皆さんに500万円募金を呼びかけます。

この大きな目標をやり切るには気構えとともに、心一つにした具体的な取り組みが不可欠です。加盟団体のみなさんの支援とともに、多くの市民の支援が決定的です。今年の財政危機は今後続くものではありません。今年の特別の事情です。2021年度の新たな前進のためにも、今年の財政危機を乗り越えるために全力を尽くしたいと思います。

県原水協の危機的事態と打開についてご理解いただき、「県原水協財政危機打開緊急募金」へのご支援・ご協力を心よりお願いいたします。

